

つながい

東金市立北中学校

第3学年だより

令和7年7月18日 第5号

文責：白井 嶺雄



～最高学年としての存在感を感じました！～

3年生としての1学期が今日で終わりとなります。新学期が始まった4月、皆さんは最高学年としての自覚を持ち、それぞれの場面で一生懸命取り組んできました。5月の体育祭では、仲間と心をつなげて全力で競技に取り組み、学年全体で大きな盛り上がりを見せてくれました。6月の修学旅行では、寺社の見学や宿泊をとおり、学びとともに思い出もたくさん作り、3年生らしい落ち着きと協力の姿勢がとても印象的でした。

学習面では、校内テストが2回あり、自分の実力を知る貴重な機会になったはず。これまでの学習の積み重ねが数字として表れると同時に、今後の課題も見えてきたと思います。学期末保護者面談では、進路や今後の学習に向けて保護者の方と一緒に考える大切な時間となりました。対話の中で見つけた課題や目標を、ぜひこれからの行動につなげていってください。

そして、部活動に打ち込んできた3年生にとっては、総合体育大会を一区切りに、多くの部が最後を迎えました。3年間積み重ねてきた努力や仲間との絆は、これからの人生にも必ず生きてくるはずです。本当にお疲れ様でした。一方で、夏休み中にも大会やコンクールを控えている部活動もあります。県大会や地区大会、コンクールに挑む仲間たちに、引き続き応援の気持ちを送ってください。

夏休みは、本格的に受験勉強のスタートを切る大切な時期です。高校の体験入学などにも積極的に参加し、自分に合った進路をじっくり考えてみてください。学習とリフレッシュのバランスを取りながら、有意義な時間を過ごしましょう。

2学期には合唱コンクールや生徒会役員選挙などの行事があります。さらに進路選択もいよいよ本格化します。3年生として、一人一人がさらに輝ける姿を楽しみにしています。自信を持って前に進んでいけるよう、この夏休みを「成長の時間」として大切に使うてください。健康に気をつけて、充実した夏休みを過ごしてください。

学年代表の言葉 3年1組 水崎美優

中学校生活最後の1年が始まり、緊張と期待の入り混じった気持ちで迎えた4月。気がつけば1学期が終わろうとしています。この4か月は今までの中学校生活とは少し違う重みのある時間だったと感じます。1学期は受験生としての自覚を持ち始める時期でもありました。私自身、受験に向けてしっかりと学力をつける必要があると自覚し、一つ一つの授業に取り組みました。苦手な教科では思うようにテストの点が伸びず、焦ることもありましたが、「わからないことをそのままにしないこと」を心がけ、友達などに聞き、今まで以上に学習内容を理解しようと頑張りました。

学年として頑張ったこともあります。1つは体育祭です。体育祭では、クラス全体が最後の体育祭を盛り上げようと頑張ったと思います。全校ダンスでは、例年よりも難しいダンスに挑戦し苦戦しながらも、お互いに教え合い最後まで踊りきることができました。紅白対抗学年リレーでは、アンカーが走りきるまで絶え間なく応援が続き、全員が気持ちよく終わられたのではないかと思います。2つ目に部活動です。3年生としての最後の大会、コンクールに向け、部活に入部していない人も、入部している人も士気を高め合えたと思います。仲間と全力で戦えたことは一生の思い出です。どんな結果でも、今まで練習に打ち込んできた時間や、泣いたり笑ったりした時間は、どんな成績よりも価値があると思います。引退してから次の受験という目標に向かって進んでいきたいです。

2学期は3年生にとって特に大切な時期です。行事などがある一方、受験に向けて、本格的に準備を進めなければいけません。2学期はテストも増え、高校についても具体的に考えるようになります。この2学期をどう過ごすかで、中学校生活の締めくくりが大きく変わると思います。勉強はすぐに結果が出るものではないですが、日々の積み重ねがやがて大きな力になると信じ、これからの時間を大切にしたいです。